

令和 6 年度 あゆみ（通知表）について

— あゆみとキャリアパスポートを連動させてお届けします —

日頃から、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。
本日は 1 学期の終業式です。あゆみ（通知表）をこどもたちに渡しました。私は、着任した 4 年前（令和 2 年度）から、本校の学校経営の根幹を「自立した子どもを育成する」としてきました。そして今年度も引き続き、こどもたちや教職員、保護者・地域の力を結集して「力のある学校をつくる」ことを目指しています。過去に、保護者会等で皆様にご案内してきた「本校の教育方針（教師の思い）」を示したものが、以下になります。

その教育方針から今年度のあゆみ（通知表）についても、文部科学省が進めるキャリアパスポートと連動させ、各学期末にお届けすることといたしました。子どもの自己評価を重視した点が、大きな特徴です。こどもの成長を温かく見守り、更なる成長を促していただきますようお願いいたします。

【多摩川小学校の教育（教師の思い）】

◎ こどもたちが、毎日、いきいきと学習・生活すること

※もちろん、けんかやトラブル、いざこざなどは時々起こりますが…

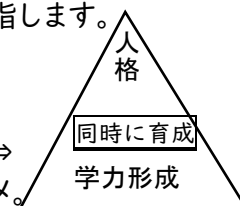
それを一つ一つ乗り越え、こころもからだも日々成長することを目指します。

《教育とは》 一人前のおとなに育てること ⇒ 自立し、自己教育できる子

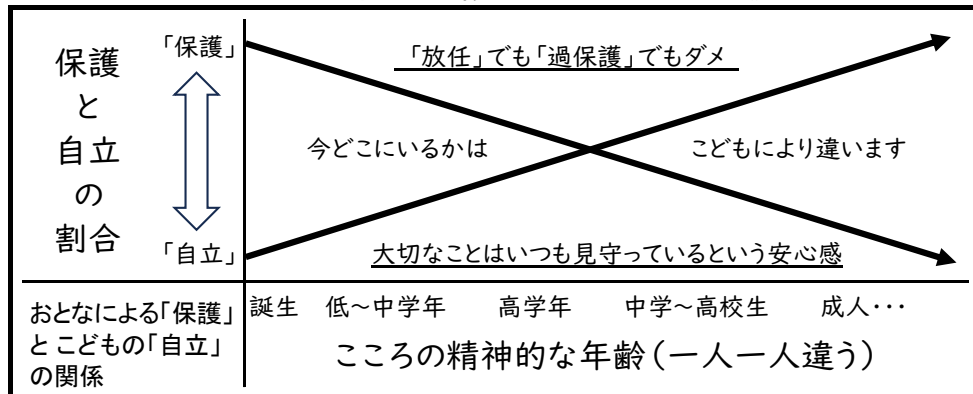
◎ 児童の健全育成 = 健全なからだは 健全なこころに 宿る

「学力形成」も「人格形成」も どちらも大切なこと ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

※ いくら勉強ができて、人との良好な関係を築けないのではダメ。



《おとな（親や教師）のかかわり（保護）と子どもの自立》



「自立」には、
①経済的自立、
②生活的自立、
③精神的自立がある。
日本人は③が弱い。
「自立」とは、
「保護」を健全に減少させ、
おとならしい判断と責任を示し、
望ましい人間関係を結ぶことができること。

「自立した人」は、温かい関係を誰とでももてて、相手を信頼しているかのようにふるまえる、いろいろな人の反応に関心を示し、特定の人々にすぐに行動が左右されることなく、最終的には自己の立場からの判断を下すことができる、このような人は、いわば自立的に見えます。しかし、自立はおとなでも難しいことです。私たちおとなも、日々成長しなければなりません。

《自己評価》 キャリアパスポートの考え方の導入

◎ 自分でその時の自分自身を振り返り さらに次のステップ（高み）を目指す

本校では、「自己教育する力」を効果的に育てるために欠かすことができないものが、その時点、時点で自らが行う的確な「自己評価」の活動にあると考えます。

教師は、こどもの「自己評価」が不十分ならば修正をさせ、自力で修正できたことを褒めるなど、前向きな生活や学習の展開を目指します。「教室（学校）は間違っているところ、間違いこそ価値のあるもの」という気持ちを大切にしていきます。

以上のように、本校では「自己評価」に重点を置き、「あゆみとキャリアパスポート」を連動させます。

【あゆみとキャリアパスポートを連動させたファイルについて】

《キャリアパスポートとは》

学校のキャリア教育に関わる様々な活動について、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自分自身の変容や成長を自己評価できるようにするポートフォリオ＝自分自身の財産のことです。これを、小1から高3までの12年間を積み重ねていきます。本校では、小1～小6までの6年間を発達段階に即して記載します。

キャリアパスポートとは

<児童>
小学校から高等学校を通じて、学習や生活について自分の取組を見通したり、ふり返ったりして、自己評価を行うとともに 主体的に学びに向かう力をはぐくみ、自己実現につなぐ。

<教師・保護者>
その記述を基に対話的に関わることで児童・生徒の成長を促し、系統的な指導に役立てる。

- ◆ 小学校から高等学校まで12年間蓄積する
- ◆ 自らの学習状況やキャリア形成を見通したり(目標設定)、振り返ったりする
- ◆ 自身の変容や成長を自己評価できるようにする



＜キャリアパスポート作成の流れ＞

- ① 「今の自分」を記載し、客観的に自分を見つめます。
- ② 「なりたい自分・将来の夢」を記入し未来の自分を見つめます。
- ③ 未来の自分に向けて、これから頑張ること等を目標設定します。
- ④ 自分の目標に向けて、日常生活や学校行事に取り組み、努力したことを振り返り、変容や成長を自己評価します。
- ⑤ 更に新しい目標を設定します。

以上、①～⑤の流れを繰り返し、毎学期のキャリアパスポートを作成します。

3学期は、進級する学年や進学する学校で頑張りたいことなどの目標を再設定します。

《本校のあゆみ(通知表)》あゆみファイルの中にキャリアパスポートを挟みます。(下図)

＜あゆみ(左面と右面)について＞

「各教科の観点別評価」や「行動の記録」、「特別活動の記録」、「出欠席の記録」は、今まで通りファイルに格納し、学校での学習や生活の記録としてお届けします。

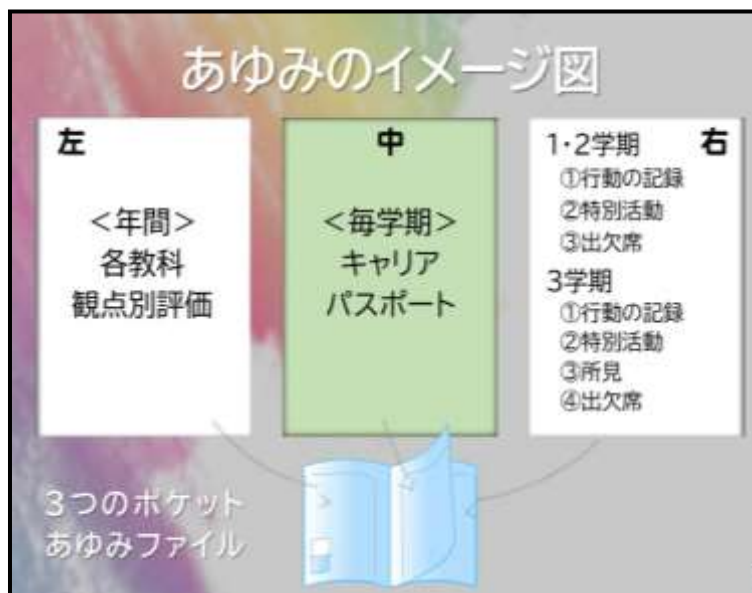
＜キャリアパスポート(中面)について＞

本校で重視する「学校行事や特別活動」を中心にお届けします。年度当初や学期始めに「今の自分・なりたい自分」を明確にし、「取組目標」を一人一人が設定します。そして、行事等の実施後の振り返りで「自己評価」することで、自分自身の変容や成長を確認します。行事等への意識や頑張り、こころの成長についての記録になります。

本校では、こどもの主体的・自主的な活動を重視し、精神的な自立を促していきます。一人一人が自分の変容や成長を意識し、更に次のステップに意欲的に取り組めるよう工夫していきます。

保護者の皆様は、今後、こどもを更に成長させるための資料として、ご家庭でご活用ください。

なお、キャリアパスポートは年度末に学校で一括購入した【緑色ファイル】に綴じて、卒業まで学校で保管していきます。年度末のあゆみファイルには入りませんのでご承知おきください。



【左側ページの内容】

各教科、次の3つの観点で評価

- 上段：知識および技能
- 中段：思考・判断・表現等
- 下段：主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品、宿題など)

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品など)

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
(授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など)

- ・1学期は2段階評価
- ・2,3学期は3段階評価

学習の記録

教科	評価の項目	1学期		2学期	
		よい	もう少し	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、文の組み立て、かなや漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。				
	順序を考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えをもっている。				
	言葉のよさを感じ、たのしく本を読み、言葉をよりよく使おうとしている。				
算数	数、形、量などが分かり、問題を解決することができる。				
	見通しをもち、筋道立てて考え、分かりやすく表している。				
	考えることのよさを感じながら、すすんで学ぼうとしている。				
音楽	生活に必要な習慣や技術を身に付け、自分やまわりの人やもの、自然のよさやすばらしさに気付くことができる。				
	自分のまわりの人やもの、自然とかかわる工夫や楽しみかたを考え、表現している。				
	すすんで学び、自分たちの遊びや生活をよりよくしようとしている。				
図画工作	曲の感じにあわせ、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。				
	どのように表すかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし味わって鑑賞したりしている。				
	音楽に親しみ、楽しく表現したり鑑賞したりしようとしている。				
体育	形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、工夫してつくり表したりすることができる。				
	形や色などから表したいこと、表し方を考え、楽しく発想や情想をし、見方や感じ方を広げている。				
	つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりしようとしている。				
	運動遊びの仕方が分かり、いろいろな動きができる。				
	運動遊びの仕方を工夫し、考えたことを友達に伝えている。				
	運動遊びを楽しみ、すすんで取り組もうとしている。				

上段

中段

下段

「あゆみ」は、

- ◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱(①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」(態度))を見るためのものです。
- ◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
- ◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比較するものではありません。
- ◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。
良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。
- ◎ 担任からの所見は1~2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

【右側ページの内容】 特別活動の項目が今までと変わります。

#

【左側のページについて】

3つの観点で評定（各教科）
 上段:知識・技能
 中段:思考・判断・表現
 下段:主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
 （テスト、ノート、発表、作品、宿題など）

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
 （テスト、ノート、発表、作品など）

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
 （授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など）

- 「あゆみ」は、
- ◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱
 （①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」（態度））を見るためのものです。
 - ◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
 - ◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比

- ◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。
 良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。
- ◎ 担任からの所見は1～2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

学習の記録

教科	観点	1学期		
		たいへんよい	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、文の組み立て、漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。			
	順序を考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えをもっている。			
	言葉のよさを感じ、たのしく本を読み、言葉をよりよく使おうとしている。			
算数	数、形、量、表とグラフなどが分かり、問題を解決することができる。			
	見通しをもち、筋道立てて考え、分かりやすく表したり適切に判断したりしている。			
	すすんで学び、学習したことを振り返り、考え方のよさを活用しようとしている。			
生活	生活に必要な習慣や技能を身に付け、自分やまわりの人やもの、自然のよさやすばらしさに気付くことができる。			
	自分のまわりの人やもの、自然とかかわる工夫や楽しみかたを考え、表現している。			
	すすんで学び、自分たちの遊びや生活をよりよくしようとしている。			
音楽	曲の感じにあわせ、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。			
	どのように表すかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし味わって鑑賞したりしている。			
	音楽に親しみ、楽しく表現したり鑑賞したりしようとしている。			
図画工作	形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、工夫してつくったり表したりすることができる。			
	形や色などから表したいこと、表し方を考え、楽しく発想や構想をし、見方や感じ方を広げている。			
	つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりしようとしている。			
体育	運動遊びの仕方が分かり、いろいろな動きができる。			
	運動遊びの仕方を工夫し、考えたことを友達に伝えている。			
	運動遊びを楽しみ、すすんで取り組もうとしている。			

年間を通して3段階評価

上段

中段

下段

【左側のページについて】

3つの観点で評価（各教科）

上段:知識・技能

中段:思考・判断・表現

下段:主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品、宿題など)

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品など)

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
(授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など)

「あゆみ」は、
◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱
(①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」(態度))を見るためのものです。
◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比

◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。

良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。

◎ 担任からの所見は1～2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

学習の記録

教科	観点	1学期		
		たいへんよい	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、語と語の役割・関係、漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。			
	筋道立てて考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えをまとめている。			
	言葉のよさに気付き、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。			
社会	身近な地域の様子や安全、生産・販売や変化が分かり、見学や調査、資料から調べ、白地図や年表などにまとめることができる。			
	社会に見られる課題に着目し、考えたり表現したりしている。			
	すすんで学習問題を解決し、学びを生活に生かそうとしている。			
算数	数量や図形、量、棒グラフなどが分かり、問題を解決することができる。			
	見通しをもち、筋道立てて考え、分かりやすく表したり適切に判断したりしている。			
	すすんで学び、学習したことを振り返り、考え方のよさを活用しようとしている。			
理科	物の性質やエネルギー、生命や地球について分かり、観察や実験を行い、過程や結果を記録することができる。			
	観察や実験を通して、差異点や共通点などから問題を見だし、表現している。			
	すすんで問題を解決し、学びを学習や生活に生かそうとしている。			
音楽	曲の特徴を捉え、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。			
	どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見だし味わって鑑賞したりしている。			
	音楽に親しみ、すすんで表現したり鑑賞したりしようとしている。			
図画工作	形や色などの感じが分かり、手や体全体を十分に働かせて材料や用具を使い、工夫してつくり表したりすることができる。			
	形や色などの感じから表したいこと、表し方を考え、豊かに発想や構想をし、見方や感じ方を広げている。			
	つくりだす喜びを味わい、すすんで表現したり鑑賞したりしようとしている。			
体育	運動の仕方が分かり、基本的な動きができる。健康で安全な生活について分かる。			
	運動や健康について課題を見付け、工夫して解決し、考えを伝えている。			
	運動や健康の学習に、すすんで取り組もうとしている。			

年間を通して3段階評価

【左側のページについて】

3つの観点で評定（各教科）

上段:知識・技能

中段:思考・判断・表現

下段:主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品、宿題など)

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品など)

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
(授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など)

「あゆみ」は、

- ◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱
(①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」(態度))を見るためのものです。
- ◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
- ◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比

◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。

良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。

◎ 担任からの所見は1～2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

学習の記録

年間を通して3段階評価

教科	観点	1学期		
		たいへんよい	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、語と語の役割・関係、漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。			
	筋道立てて考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えをまとめている。			
	言葉のよさに気づき、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。			
社会	東京都の様子や暮らし、伝統や文化を守る活動が分かり、見学や調査、資料から調べ、地図や年表などにまとめることができる。			
	社会に見られる課題に着目し、考えたり表現したりしている。			
	すすんで学習問題を解決し、学びを生活に生かそうとしている。			
算数	数量や図形、面積や角の大きさ、折れ線グラフなどが分かり、問題を解決することができる。			
	数学的な見方・考え方を働かせ、的確に表現したり考えたりしている。			
	学習したことを振り返り、粘り強く考え、学びを生活や学習に活用しようとしている。			
理科	物の性質やエネルギー、生命や地球について分かり、観察や実験を行い、過程や結果を記録することができる。			
	観察や実験を通して、既習内容や生活経験から根拠のある予想や仮説を立て、表現している。			
	すすんで問題を解決し、学びを学習や生活に生かそうとしている。			
音楽	曲の特徴を捉え、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。			
	どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだし味わって鑑賞したりしている。			
	音楽に親しみ、すすんで表現したり鑑賞したりしようとしている。			
図画工作	形や色などの感じが分かり、手や体全体を十分に働かせて材料や用具を使い、工夫してつくり表したりすることができる。			
	形や色などの感じから表したいこと、表し方を考え、豊かに発想や構想をし、見方や感じ方を広げている。			
	つくりだす喜びを味わい、すすんで表現したり鑑賞したりしようとしている。			
体育	運動の仕方が分かり、基本的な動きができる。体の発育・発達について分かる。			
	運動や健康について課題を見付け、工夫して解決し、考えを伝えている。			
	運動や健康の学習に、すすんで取り組もうとしている。			

【左側のページについて】

3つの観点で評定（各教科）

上段:知識・技能

中段:思考・判断・表現

下段:主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品、宿題など)

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
(テスト、ノート、発表、作品など)

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
(授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など)

「あゆみ」は、

- ◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱
(①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」(態度))を見るためのものです。
- ◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
- ◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比

- ◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。

良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。

- ◎ 担任からの所見は1～2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

学習の記録

年間を通して3段階評価

教科	観点	1学期		
		たいへんよい	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、文と文の関係、漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。			上段
	筋道立てて考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えを広げている。			
	言葉のよさを認識し、すすんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。			
社会	世界における我が国の国土の様子や農業、水産業、工業が分かり、各種の資料から調べ、まとめることができる。			
	社会に見られる課題に着目し、考えたり表現したりしている。			
	すすんで学習問題を解決し、学びを生活に生かそうとしている。			
算数	数量や図形、面積や体積、割合、帯グラフなどが分かり、問題を解決することができる。			中段
	数学的な見方・考え方を働かせ、的確に表現したり考えたりしている。			
	学習したことを振り返り、粘り強く考え、学びを生活や学習に活用しようとしている。			
理科	物の性質やエネルギー、生命や地球について分かり、観察や実験を行い、過程や結果を記録することができる。			
	観察や実験を通して、条件をおさえた予想や仮説から解決方法を見いだし、表現している。			
	粘り強く問題を解決し、学びを学習や生活に生かそうとしている。			
音楽	曲の雰囲気や特徴を捉え、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。			
	どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだし味わって鑑賞したりしている。			下段
	音楽に親しみ、主体的に表現したり鑑賞したりしようとしている。			
図画工作	形や色などの造形的な特徴を理解し、材料や用具を活用し、工夫してつくったり表したりすることができる。			
	形や色などの造形的な特徴から表したいこと、表し方を考え、創造的に発想や構想をし、見方や感じ方を深めている。			
	つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり鑑賞したりしようとしている。			
家庭	家族や家庭生活、衣食住の生活、消費生活や環境などについて理解し、適切に実践できる。			
	日常生活の中から課題を見付け、解決方法を考え、表現している。			
	生活をよりよくしようと、すすんで課題解決に取り組み、生活を工夫し、実践しようとしている。			
体育	運動の仕方が分かり、特性に応じた基本的な動きができる。心の健康やけがの防止について分かる。			
	運動や健康・安全について課題を見付け、工夫して解決し、考えを伝えている。			
	運動や健康・安全の学習に、すすんで取り組もうとしている。			
外国語	日本語との違いが分かり、聞く、読む、話す、書くことができる。			
	簡単な語句や基本的な表現から考え、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。			
	日本や諸外国に興味や関心をもち、外国語を使い、すすんで相手と関わろうとしている。			

【左側のページについて】

3つの観点で評定（各教科）
 上段:知識・技能
 中段:思考・判断・表現
 下段:主体的に学習に取り組む態度

【知識および技能】

教科ごとに必要な基本的な内容をどのくらい理解しているか、正しく使えるか等を総合的に評価します。
 （テスト、ノート、発表、作品、宿題など）

【思考・判断・表現等】

自分の頭で考えたり、知識や技能を使って表現したりする力があるか等を総合的に評価します。
 （テスト、ノート、発表、作品など）

【主体的に学習に取り組む態度】

学習に対する姿勢や意欲があるか、発言の内容が課題に即しているか等を総合的に評価します。
 （授業中の様子・姿勢、課題への取り組み方、ノート、作品など）

「あゆみ」は、

- ◎ こどもが生きていくのに必要な力を育てるための3つの柱
 （①「知識および技能」、②「思考・判断・表現等」、③「学びに向かう力、人間性等」（態度））を見るためのものです。
- ◎ こどもが学習状況を振り返り、次の学習への意欲やめあてを高めるためのものです。
- ◎ こどもが自分自身の成長を振り返るためのものです。他の子と比

◎ こどもたちが今後も学習に取り組む上での目標や課題を見付けるためのものです。

良かった点や改善点を一緒に考えてサポートしてください。

◎ 担任からの所見は1～2学期は面談等で伝え、3学期には1年間の総括として記載いたします。

学習の記録

教科	観点	1学期		
		たいへんよい	よい	もう少し
国語	言葉の意味や使い方、文と文の関係、漢字などが分かり、話す、聞く、書く、読むことができる。			
	筋道立てて考え、感じたり想像したりし、言葉で自分の思いや考えを広げている。			
	言葉のよさを認識し、すすんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。			
社会	我が国の政治や歴史、世界における我が国の役割が分かり、各種の資料から調べ、まとめることができる。			
	社会に見られる課題に着目し、考えたり表現したりしている。			
	すすんで学習問題を解決し、学びを生活に生かそうとしている。			
算数	数量や文字、図形や体積、比例、度数分布表などが分かり、問題を解決することができる。			
	数学的な見方・考え方を働かせ、的確に表現したり考えたりしている。			
	学習したことを振り返り、粘り強く考え、学びを生活や学習に活用しようとしている。			
理科	物の性質やエネルギー、生命や地球について分かり、観察や実験を行い、過程や結果を記録することができる。			
	観察や実験を通して、より妥当な考えを見だし、表現している。			
	粘り強く問題を解決し、学びを学習や生活に生かそうとしている。			
音楽	曲の雰囲気や特徴を捉え、歌や楽器の演奏、音楽づくりができる。			
	どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見だし味わって鑑賞したりしている。			
	音楽に親しみ、主体的に表現したり鑑賞したりしようとしている。			
図画工作	形や色などの造形的な特徴を理解し、材料や用具を活用し、工夫してつくったり表したりすることができる。			
	形や色などの造形的な特徴から表したいこと、表し方を考え、創造的に発想や構想をし、見方や感じ方を深めている。			
	つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり鑑賞したりしようとしている。			
家庭	家族や家庭生活、衣食住の生活、消費生活や環境などについて理解し、適切に実践できる。			
	日常生活の中から課題を見付け、解決方法を考え、表現している。			
	生活をよりよくしようと、すすんで課題解決に取り組み、生活を工夫し、実践しようとしている。			
体育	運動の仕方が分かり、特性に応じた基本的な動きができる。病気の予防について分かる。			
	運動や健康・安全について課題を見付け、工夫して解決し、考えを伝えている。			
	運動や健康・安全の学習に、すすんで取り組もうとしている。			
外国語	日本語との違いが分かり、聞く、読む、話す、書くことができる。			
	簡単な語句や基本的な表現から考え、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。			
	日本や諸外国に興味や関心をもち、外国語を使い、すすんで相手と関わろうとしている。			

年間を通して3段階評価

上段

中段

下段